

平成 27 年 7 月 30 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 橘高 公久
電話番号 03-5572-0233

山口県及び島根県沖合における試掘調査の実施について
資源エネルギー庁から海上基礎試錐を受託

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、この度、国内における石油・天然ガスの新たな賦存の可能性を調査すべく、山口県及び島根県沖合における試掘調査の実施（以下、本事業）について、経済産業省資源エネルギー庁より「平成 26～28 年度国内石油天然ガス基礎調査事業（海上基礎試錐^(※)）」として受託しましたので、お知らせいたします。

(※) 基礎試錐とは、石油・天然ガスの賦存及び関連する地質の調査を目的とした「ボーリング調査（試掘）」のこと。



基礎試錐の実施候補地

この度試掘調査が行われる山口県及び島根県沖合では、2011 年に政府が国内石油天然ガス基礎

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

調査事業の一環として物理探査船「資源」による基礎物理探査を実施し、その結果を基に 2013 年に当社が 3 次元物理探査を実施いたしました。本事業は、それら調査結果などを踏まえ、山口県北沖合約 140 キロメートル、島根県北西沖合約 130 キロメートルの地点において試掘調査を実施するものであります。当社は各種準備作業を経て、2016 年 5 月からの試掘作業開始に向け、本年 8 月に海底面の状況や海流等を調査する事前調査に着手します。本事業を進めるに当たっては、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながら、安全を最優先に進めてまいります。

当社は国内最大級のガス田である新潟県南長岡ガス田をオペレーターとして開発・生産事業を推進しているほか、秋田県や千葉県においても石油・天然ガスの生産事業を実施しております。本事業の推進は、当社が 2012 年 5 月に策定した INPEX 中長期ビジョンにおける成長目標の一つである「上流事業の持続的な拡大」に沿うと共に、商業規模の石油・天然ガスの生産が実現されれば、我が国のエネルギー自給率の向上に寄与することが期待されます。

当社は、引き続き、日本国内における新規探鉱及び開発事業を通じて、国産エネルギー資源の有効かつ効率的な活用に取り組んでまいります。

< 事業内容 >

試掘場所：	山口県北沖合約 140 キロメートル、島根県北西沖合約 130 キロメートル、水深約 210 メートル
試掘時期：	事前調査 2015 年 8 月、試掘 2016 年 5 月－8 月（予定）

以上